

事業№	事業名	技能勤労者表彰				担当部署	部名	産業経済部
		(商工総務費)					課名	商工観光課
090							電話	82-1955
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 3 部 元気で活気あふれるまち					款	商工費
	政策名(章)	第 5 章 だれもがいいきいと働くまちづくり					項	商工費
	施策名(節)	第 1 節 担い手育成の促進					目	商工総務費
実施計画掲載		無		個別計画				
根拠法令・要綱等		射水市技能勤労者表彰要綱						

事業目的	対象	誰を・何を	永く同一の職業に従事し、他の模範となる技能勤労者
	意図	どのような状態に	技能勤労者の職業の安定と地位の向上を図ることを目的として表彰する
事業内容	手段	どのような方法で	市内に居住する (1) 年齢50歳以上で、同一職業の技能勤労者としての経験年数25年以上の者 (2) 業務に精励し、他の同一職業の技能勤労者の模範と認められる者を職種の団体から推薦。市において審査し被表彰者を決定

補助金事業	類型区分							
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)					

施設管理運営事業	施設名					管理形態	
						指定管理者名	
	構造・階数					指定管理期間	
	建築年度		改修年度		類似施設状況		
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況		
	設備・規模						

施設等整備事業	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度				
	整備内容							

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	90	事務 事業名	技能勤労者表彰	担当課	商工観光課
---------	----	-----------	---------	-----	-------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 被表彰者数	人	15	15	11	73.3	15
	③						
活動 指標	① 推薦数	人	16	15	11	73.3	15
	②						
	③						

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	55 千円	61 千円	10.9	74 千円
	正規職員人件費相当額	483 千円	476 千円	▲ 1.4	476 千円
	退職手当引当金相当額	70 千円	67 千円	▲ 5.0	67 千円
	事業コスト計	608 千円	604 千円	▲ 0.7	617 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
財源内訳	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	608 千円	604 千円	▲ 0.7	617 千円
	当 該 事 務				
	従 事 職 員 数	正規職員 0.07 人	0.07 人	0.0	0.07 人
		臨時職員 人	人		人
利用者1人当たりコスト		—	—		
	うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説 明
必 要 性	3	近年、後継者不足等技能の継承が問題視されていることから不可欠である。
有 効 性	4	各種業界からの候補者の推薦により決定していることから、業界の活性化にも寄与している。
達 成 度	3	業界での候補者の減少も見られることから減少傾向である。
効 率 性	4	コストは適切である。

評価結果 (1次)	A	現行 (計画) どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
技能勤労者の励みとなっており、現行どおりとしたい。					

事業№	事業名	富山くすりフェア開催負担金				担当部署	部名	産業経済部
		(商工総務費)					課名	商工観光課
091							電話	82-1955
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 3 部 元気で活気あふれるまち					款	商工費
	政策名(章)	第 2 章 活気ある商工業が栄えるまちづくり					項	商工費
	施策名(節)	第 3 節 にぎわいのある商業の振興					目	商工総務費
	実施計画掲載	無		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	交付先	富山くすりフェア実行委員会
	意図	交付目的	「富山のくすり」についての理解を深め、又周知を図るため。
事業内容	手段	補助金等の交付を受ける主な活動 9月1日から9月3日の間、おわら風の盆にあわせ八尾で全国に向けて「富山のくすり」をPRするため、富山くすりフェアとして展示コーナー及び体験コーナーを設置	

補助金事業	類型区分	団体運営費補助	☐ 事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助
		格差是正補助	利子補給	その他 ()	
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)		
		定額補助	予算の範囲内		
		定率補助			
☐ その他					

施設管理運営事業	施設名					管理形態	
						指定管理者名	
	構造・階数					指定管理期間	
	建築年度		改修年度		類似施設状況		
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況		
	設備・規模						

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度				
	整備内容							

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	91	事務 事業名	富山くすりフェア開催負担金	担当課	商工観光課
---------	----	-----------	---------------	-----	-------

指 標 名			単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度
					目標・見込	実績	達成率	目標・見込
成果指標	①	利用者数 ※設定できる場合 ()	人	5,000	5,000	5,000	100.0	5,000
	②							
	③							

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (補助金等交付額)	250 千円	250 千円	0.0	250 千円
	(補助金等交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
	正規職員人件費相当額	207 千円	204 千円	▲ 1.4	204 千円
	退職手当引当金相当額	30 千円	29 千円	▲ 5.0	29 千円
	事業コスト計	487 千円	483 千円	▲ 0.9	483 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
当 該 事 務 従 事 職 員 数	一 般 財 源	487 千円	483 千円	▲ 0.9	483 千円
	正 規 職 員	0.03 人	0.03 人	0.0	0.03 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	0.10 千円	0.10 千円	▲ 0.9	
	うち一般財源ベース分	0.10 千円	0.10 千円	▲ 0.9	

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	射水市内の薬業従事者数は、県内で2番目に多いことから、「富山のくすり」のPRは必然のものとする。
有 効 性	3	県外からの入込み数の多い県内のイベントとタイアップして実施されており、有効性は高いと考える。
効 率 性	3	県及び県内市町村で連携して取り組んでおり、効率的である。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
県内においても、富山市について薬業従事者が2番目に多い市町村であるので、負担金についても妥当と考える。					

事業№	事業名	新湊商店連合会補助金				担当部署	部名	産業経済部
		(商工総務費)					課名	商工観光課
092							電話	82-1955
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 3 部 元気で活気あふれるまち					款	商工費
	政策名(章)	第 2 章 活気ある商工業が栄えるまちづくり					項	商工費
	施策名(節)	第 3 節 にぎわいのある商業の振興					目	商工総務費
	実施計画掲載	無		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	交付先	新湊商店連合会
	意図	交付目的	射水市新湊地区における商店街の健全な発展を図り、緊密なる相互連絡に寄与する。
事業内容	手段	補助金等を受ける受実施する主な活動	①商店街繁栄の方策樹立 ②商店会運営の調査研究 ③商店会における各種行事催物の調査研究と実施指導 ④商店経営の調査研究と実施指導

補助金事業	類型区分	☐ 団体運営費補助	☐ 事業費補助	☐ 施設等整備費補助	☐ 政策的補助	
		☐ 格差是正補助	☐ 利子補給	☐ その他 ()		
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)			
		定額補助	予算の範囲内			
		定率補助				
	☐ その他					

施設管理運営事業	施設名				管理形態	
					指定管理者名	
	構造・階数				指定管理期間	
	建築年度		改修年度		類似施設状況	
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況	
	設備・規模					

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度				
	整備内容							

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	92	事務 事業名	新渡商店連合会補助金	担当課	商工観光課
---------	----	-----------	------------	-----	-------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 会員事業所数	か所	115	115	113	98.3	113
	③						

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業 コスト	直 接 事 業 費 (補助金等交付額)	634 千円	571 千円	▲ 9.9	550 千円
	(補助金等交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
	正規職員人件費相当額	207 千円	204 千円	▲ 1.4	204 千円
	退職手当引当金相当額	30 千円	29 千円	▲ 5.0	29 千円
	事 業 コ ス ト 計	871 千円	804 千円	▲ 7.7	783 千円
財源 内訳	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	871 千円	804 千円	▲ 7.7	783 千円
当 該 事 務 従 事 職 員 数	正規職員	0.03 人	0.03 人	0.0	0.03 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	－	－		
	うち一般財源ベース分	－	－		

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	商店街の活性化が、地域住民の活性化につながることから必要である
有 効 性	4	元気にせんまい券との連動セールを実施していることから有効性がうかがえる
効 率 性	4	平成22年度において商店連合会と商店連合協同組合を一本化しており、効率的に商店街の振興に寄与している。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
地域商店街の活性化により地域住民の福祉の向上も図れることから、現行のとおりとしたい。					

事業№	事業名	新湊葉業連合会補助金				担当部署	部名	産業経済部
		(商工総務費)					課名	商工観光課
093							電話	82-1955
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 3 部 元気で活気あふれるまち					款	商工費
	政策名(章)	第 2 章 活気ある商工業が栄えるまちづくり					項	商工費
	施策名(節)	第 3 節 にぎわいのある商業の振興					目	商工総務費
	実施計画掲載	無		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	交付先	射水市新湊葉業連合会
	意図	交付目的	地場産業である配置葉業の発展、近代化及び資源向上を図るとともに、射水市のPRと業界の発展に努める
事業内容	手段	補助金等の交付を受ける実施する主な活動	1. 講習・研修の実施 2. レクリエーション事業の実施 3. 各配置葉先において射水市のPR (PR用紙風船の配布)

補助金事業	類型区分	☐ 団体運営費補助	☐ 事業費補助	☐ 施設等整備費補助	☐ 政策的補助	
		☐ 格差是正補助	☐ 利子補給	☐ その他 ()		
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)			
		定額補助	予算の範囲内			
		定率補助				
	☐ その他					

施設管理運営事業	施設名					管理形態	
						指定管理者名	
	構造・階数					指定管理期間	
	建築年度		改修年度		類似施設状況		
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況		
	設備・規模						

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度				

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	93	事 務 事業名	新渡瀬業連合会補助金	担当課	商工観光課
---------	----	------------	------------	-----	-------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 会員数	人	78	75	70	93.3	70
	③						

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	直 接 事 業 費 (補助金等交付額)	259 千円	259 千円	0.0	259 千円
	(補助金等交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
	正規職員人件費相当額	207 千円	204 千円	▲ 1.4	204 千円
	退職手当引当金相当額	30 千円	29 千円	▲ 5.0	29 千円
	事 業 コ ス ト 計	496 千円	492 千円	▲ 0.9	492 千円
	財 源 内 訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	496 千円	492 千円	▲ 0.9	492 千円
当 該 事 務 従 事 職 員 数	正規職員	0.03 人	0.03 人	0.0	0.03 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	—	—		
	うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	いわゆる売薬さんは全国に顧客があり、情報収集や情報発信となることから、市との連携を深めたい。
有 効 性	3	PR用の紙風船の配布も担っていただいているところであり、PRパンフの配布などこれからも協力をお願いしたい。
効 率 性	3	会員から課金徴収しており、市補助金は運営費の一部の補助となっている。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
地場産業である薬業の振興は重要であり、また本市のPRにも寄与していることから、現行どおりとしたい。					

事業№	事業名	新湊水産業振興補助金				担当部署	部名	産業経済部
		(商工総務費)					課名	商工観光課
094							電話	82-1955
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 3 部 元気で活気あふれるまち					款	商工費
	政策名(章)	第 4 章 豊かな水産資源を生かしたまちづくり					項	商工費
	施策名(節)	第 1 節 活気あふれる漁業の振興					目	商工総務費
	実施計画掲載	無		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	交付先	新湊水産物商業連合協同組合					
	意図	交付目的	新湊の地場産業である水産業の振興を図る					
事業内容	手段	補助金等を受ける実施主活動	1. 魚腸骨の商品化及び処分方法の研修 2. 魚食普及活動 (1) 新湊カニかに海鮮白えびまつりの協賛 3. 後継者の育成 (1) 青年部の育成 4. 発砲スチロール魚箱の処分とダイオキシン対策について効率的な処分費用					

補助金事業	類型区分	☐ 団体運営費補助	☐ 事業費補助	☐ 施設等整備費補助	☐ 政策的補助	
		☐ 格差是正補助	☐ 利子補給	☐ その他 ()		
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)			
		定額補助	予算の範囲内			
		定率補助				
	☐ その他					

施設管理運営事業	施設名				管理形態			
					指定管理者名			
	構造・階数				指定管理期間			
	建築年度		改修年度		類似施設状況			
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況			
	設備・規模							

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度				

その他	特記事項等							
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--

事業 №	94	事務 事業名	新湊水産業振興補助金	担当課	商工観光課
---------	----	-----------	------------	-----	-------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 組合員数	人	106	106	102	96.2	102
	③						

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	直 接 事 業 費 (補助金等交付額)	510 千円	510 千円	0.0	510 千円
	(補助金等交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
	正規職員人件費相当額	207 千円	204 千円	▲ 1.4	204 千円
	退職手当引当金相当額	30 千円	29 千円	▲ 5.0	29 千円
	事 業 コ ス ト 計	747 千円	743 千円	▲ 0.6	743 千円
	財 源 内 訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	747 千円	743 千円	▲ 0.6	743 千円
当 該 事 務 従 事 職 員 数	正規職員	0.03 人	0.03 人	0.0	0.03 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	—	—		
	うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	後継者の育成が急務となっている現状を踏まえ、また新湊の魚を扱う事業者の育成の一助となっている。
有 効 性	3	売るだけではなく、廃棄物などの処理について協同事業を行っていることから、その継続が必要である。
効 率 性	3	市補助金は運営費の一部の補助となっている。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
後継者育成の重要性、共同事業の継続の必要性からも、 現行のとおりとしたい。					

事業№	事業名	たばこ販売組合補助金				担当部署	部名	産業経済部		
		(商工総務費)					課名	商工観光課		
095							電話	82-1955		
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計		
総合計画	施策の大綱	第 3 部 元気で活気あふれるまち					款	商工費		
	政策名(章)	第 2 章 活気ある商工業が栄えるまちづくり					項	商工費		
	施策名(節)	第 3 節 にぎわいのある商業の振興					目	商工総務費		
	実施計画掲載	無		個別計画						
根拠法令・要綱等										
事業目的	対象	新湊たばこ販売組合、高岡たばこ販売協同組合小杉支部、高岡たばこ販売協同組合大門支部								
	意図	たばこの販売促進による消費税還付金の増額、喫煙環境の向上、未成年者喫煙防止対策事業の実施								
事業内容	手段	補助金等の交付を受ける主な活動 環境美化・分煙運動の実施、未成年者喫煙防止タスポ普及と販売店舗における製品宣伝								
補助金事業	類型区分	☐ 団体運営費補助		☐ 事業費補助		☐ 施設等整備費補助		☐ 政策的補助		
		☐ 格差是正補助		☐ 利子補給		☐ その他 ()				
	補助内容	補助区分		算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)						
		☐ 定額補助		予算の範囲内						
		☐ 定率補助								
☐ その他										
施設管理運営事業	施設名					管理形態				
						指定管理者名				
	構造・階数					指定管理期間				
						類似施設状況				
	建築年度	改修年度								
	耐震の有無	延床面積				民間施設状況				
設備・規模										
施設等整備事業	総事業費			財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	整備内容	平成22年度		平成23年度		平成24年度				
その他	特記事項等									

事業 №	95	事務 事業名	たばこ販売組合補助金	担当課	商工観光課
---------	----	-----------	------------	-----	-------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 組合員数	人	157	141	131	92.9	109
	③						

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (補助金等交付額)	180 千円	180 千円	0.0	180 千円
	(補助金等交付件数)	(3 件)	(3 件)	0.0	(3 件)
	正規職員人件費相当額	276 千円	272 千円	▲ 1.4	272 千円
	退職手当引当金相当額	40 千円	38 千円	▲ 5.0	38 千円
	事業コスト計	496 千円	490 千円	▲ 1.2	490 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
当 該 事 務 従 事 職 員 数	一 般 財 源	496 千円	490 千円	▲ 1.2	490 千円
	正 規 職 員	0.04 人	0.04 人	0.0	0.04 人
利用者 1 人 当 たり コ ス ト		—	—		
	うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	分煙のPRや販売店間の連携の強化が、市民福祉の向上、また、売上の増加が市税の増収につながることから妥当と考える。
有 効 性	3	分煙のPRや清掃活動などを実施し、イベントにも協力的であり、効果が現れている。
効 率 性	4	事業内容に対して、補助金額は適切である。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
分煙の推進等の事業が市民福祉の向上に寄与することから、現行どおりとしたい。					

事業№	事業名	いみずの魅力発信事業補助金				担当部署	部名	産業経済部		
		(商工総務費)					課名	商工観光課		
096							電話	82-1955		
事業期間		開始年度	平成 18 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計		
総合計画	施策の大綱	第 3 部 元気で活気あふれるまち					款	商工費		
	政策名(章)	第 1 章 新しい価値を生み出すまちづくり					項	商工費		
	施策名(節)	第 1 節 射水ブランドの創造					目	商工総務費		
	実施計画掲載	無		個別計画						
根拠法令・要綱等										
事業目的	対象	射水商工会議所								
	意図	地区内の観光資源、特に食文化を核にした「新湊地区の魅力」を県内外に発信し、地域全体の集客力を高め、幅広く地域経済の活性化につなげることを目的とする。								
事業内容	手段	補助金等の交付を受けて実施する主な活動								
		地域の魅力を県内外に広く発信し、新鮮な魚介類を食材にした付加価値の高い「旬の味」を提供し、リピーターの拡大や集客力を高めることにより地域経済の活性化につなげていく。また、タイアップ店(軽食店、和洋菓子店、海産物店)と共にスタンプラリーを実施する。								
補助金事業	類型区分	団体運営費補助		○	事業費補助	施設等整備費補助		政策的補助		
		格差是正補助			利子補給	その他()				
	補助内容	補助区分		算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)						
		定額補助		予算の範囲内						
		定率補助								
	○ その他									
施設管理運営事業	施設名					管理形態				
						指定管理者名				
	構造・階数					指定管理期間				
	建築年度		改修年度		類似施設状況					
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況					
設備・規模										
施設等整備事業	総事業費			財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	整備内容	平成22年度		平成23年度		平成24年度				
その他	特記事項等									

事業 №	96	事 務 事業名	いみずの魅力発信事業補助金	担当課	商工観光課
---------	----	------------	---------------	-----	-------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 (参加者数)	人	4,595	8,000	9,708	121.4	9,000
	② 参加店舗数	店舗	29	80	98	122.5	90
	③						

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	直 接 事 業 費 (補助金等交付額)	1,000 千円	1,000 千円	0.0	1,000 千円
	(補助金等交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
	正規職員人件費相当額	207 千円	204 千円	▲ 1.4	204 千円
	退職手当引当金相当額	30 千円	29 千円	▲ 5.0	29 千円
	事 業 コ ス ト 計	1,237 千円	1,233 千円	▲ 0.4	1,233 千円
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	1,237 千円	1,233 千円	▲ 0.4	1,233 千円
財源内訳	当 該 事 務 従 事 職 員 数	正規職員	0.03 人	0.0	0.03 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	0.27 千円	0.13 千円	▲ 52.8	
	うち一般財源ベース分	0.27 千円	0.13 千円	▲ 52.8	

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	いみずの食材を使用した特別料理を提供し、市内外に発信することは大変重要である。
有 効 性	4	市内飲食店の創意あふれる料理が提供される機会が増えることから、活性化につながり、有効である。
効 率 性	4	商工会議所と参加事業者とが連携し、事業を推進している。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
本市の情報発信及び活性化に有効であるため、現行どおりとしたい。					

事業№	事業名	射水ブランド商品開発等支援補助金				担当部署	部名	産業経済部
		(ブランド化推進事業費)					課名	商工観光課
097							電話	82-1958
事業期間		開始年度	平成 23 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 3 部 元気で活気あふれるまち					款	商工費
	政策名(章)	第 1 章 新しい価値を生み出すまちづくり					項	商工費
	施策名(節)	第 1 節 射水ブランドの創造					目	商工総務費
実施計画掲載		無		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	交付先	地域資源を活用した商品を開発・販売する事業者やまちづくり団体等
	意図	交付目的	地域資源を活用した新商品の開発及び販路を拡大し、本市の活性化及び新たな射水ブランドの構築を図る
事業内容	手段	補助金等を受ける実施する主な活動	・農商工連携取組商品(トラフグ、ヘチマ、キララカ梨等)、かけ中、シロエビ、すり身等を活用した、ご当地グルメやB級グルメの開発 ・物産展やイベント等に出展し実証販売等調査研究 ・市内での提供事業者の拡大促進

補助金事業	類型区分	団体運営費補助	○	事業費補助		施設等整備費補助		政策的補助	
		格差是正補助		利子補給		その他()			
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)						
		定額補助	・助成金の額は、補助対象経費の50%以下とし、200千円を上限						
		○ 定率補助							
	その他								

施設管理運営事業	施設名					管理形態				
						指定管理者名				
	構造・階数					指定管理期間				
	建築年度		改修年度		類似施設状況					
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況					
	設備・規模									

施設等整備事業	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
		平成22年度	平成23年度	平成24年度					
	整備内容								

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	97	事務 事業名	射水ブランド商品開発等支援補助金	担当課	商工観光課
---------	----	-----------	------------------	-----	-------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 商品開発件数	件	2	2	1	50.0	2
	③						

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (補助金等交付額)	千円	200 千円	皆増	400 千円
	(補助金等交付件数)	(件)	(1 件)	皆増	(2 件)
	正規職員人件費相当額	千円	204 千円	皆増	204 千円
	退職手当引当金相当額	千円	29 千円	皆増	29 千円
	事業コスト計	千円	433 千円	皆増	633 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
当 該 事 務 従 事 職 員 数	一 般 財 源	千円	433 千円	皆増	633 千円
	正規職員	人	0.03 人	皆増	0.03 人
利用者 1 人 当 たり コ ス ト		—	—		
	うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	射水ブランドとして優良な資源である「きららか梨」の関連商品の開発や販路開拓に取り組みが行われており、次年度以降も同様の取組みが期待できる。
有 効 性	3	本事業を活用して開発された商品が地元業者により販売されており、販路拡大等今後の展開に期待がもてる
効 率 性	3	参画事業者による負担金等もあり、市補助金は事業費の一部の支援となっている

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
新たな商品開発と販路拡大には経費もかかることから、事業費の一部を支援することは必要である。					

事業№	事業名	観光推進費				担当部署	部名	産業経済部
							課名	商工観光課
098							電話	82-1958
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 3 部 元気で活気あふれるまち					款	商工費
	政策名 (章)	第 1 章 新しい価値を生み出すまちづくり					項	商工費
	施策名 (節)	第 2 節 魅力ある観光の振興					目	観光費
	実施計画掲載	無		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	誰を・何を	首都圏を始めとした大都市圏を中心に県内外の人々
	意図	どのような状態に	射水市の魅力ある観光資源をPRし射水市内への誘客を促進する
事業内容	手段	どのような方法で	新聞や雑誌等広告媒体を活用して射水の魅力を発信する (H22年度は、上記に加え射水市PR用物品として紙風船、PR用オリジナルキャンディーを作製)

補助金事業	類型区分							
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)					

施設管理運営事業	施設名					管理形態	
						指定管理者名	
	構造・階数					指定管理期間	
	建築年度		改修年度		類似施設状況		
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況		
	設備・規模						

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度				
	整備内容							

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	98	事務 事業名	観光推進費	担当課	商工観光課
---------	----	-----------	-------	-----	-------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 (観光客入込数)	人	3,238,666	3,250,000	3,578,919	110.1	3,615,000
	②						
	③						
活動 指標	① 新聞・雑誌広告掲載	回	3	2	2	100.0	4
	②						
	③						

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	928 千円	463 千円	▲ 50.1	515 千円
	正規職員人件費相当額	207 千円	204 千円	▲ 1.4	204 千円
	退職手当引当金相当額	30 千円	29 千円	▲ 5.0	29 千円
	事業コスト計	1,165 千円	696 千円	▲ 40.3	748 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
当 該 事 務 従 事 職 員 数	一 般 財 源	1,165 千円	696 千円	▲ 40.3	748 千円
	正 規 職 員	0.03 人	0.03 人	0.0	0.03 人
	臨 時 職 員	人	人		人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	0.00 千円	0.00 千円	▲ 46.0	
	う ち 一 般 財 源 ベ ー ス 分	0.00 千円	0.00 千円	▲ 46.0	

評価項目	点数	説 明
必 要 性	3	新聞や雑誌等広告媒体を活用し、さらに“射水”の認知度と地域イメージの向上を図る必要がある
有 効 性	4	観光入込み数の達成率が110%を超えたことから、一定程度の広告の効果があったものとする
達 成 度	4	首都圏並びに富山・石川両県等で配布される新聞広告を2回掲載した
効 率 性	3	限られた予算の中での広告掲載に関わらず、観光客入込み数の達成率が110%を超えたことから効率的に実施できたものとする

評価結果 (1次)	A	現行(計画)どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント		
今後、射水市のさらなる認知度と地域イメージの向上を図るため、これまでの広告に加え無料掲載誌等を含め、積極的な情報発信に努めることとする					

事業№	事業名	射水市観光協会補助金				担当部署	部名	産業経済部
		(観光推進費)					課名	商工観光課
099							電話	82-1958
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 3 部 元気で活気あふれるまち					款	商工費
	政策名(章)	第 1 章 新しい価値を生み出すまちづくり					項	商工費
	施策名(節)	第 2 節 魅力ある観光の振興					目	観光費
	実施計画掲載	無		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	交付先	社団法人 射水市観光協会
	意図	交付目的	射水市内の観光事業の振興及び観光客の誘致
事業内容	手段	補助金等の交付を受けて実施する主な活動	1 イベント開催事業…主催4事業、支援10事業 2 観光施設整備維持事業…観光案内板の点検及び観光施設の維持補修等 3 観光客誘致宣伝事業…出向宣伝、観光・物産展への参加、広域観光圏事業への参画等 4 観光団体等育成事業…観光関係団体への助成、伝統芸能団体の育成等 5 観光客受入れ体制の充実…マナー向上、おもてなし研修の実施等

補助金事業	類型区分	☐ 団体運営費補助	☐ 事業費補助	☐ 施設等整備費補助	☐ 政策的補助	
		☐ 格差是正補助	☐ 利子補給	☐ その他 ()		
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)			
		定額補助	予算の範囲内で交付する			
		定率補助				
	☐ その他					

施設管理運営事業	施設名				管理形態			
					指定管理者名			
	構造・階数				指定管理期間			
	建築年度		改修年度		類似施設状況			
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況			
	設備・規模							

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度				

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	99	事 務 事業名	射水市観光協会補助金	担当課	商工観光課
---------	----	------------	------------	-----	-------

指 標 名				単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度
						目標・見込	実績	達成率	目標・見込
成果 指標	①	利用者数 ※設定できる場合 (観光客入込数 (年次別))		人	3,238,666	3,250,000	3,578,919	110.1	3,615,000
	②								
	③								

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	直 接 事 業 費 (補助金等交付額)	25,190 千円	25,192 千円	0.0	27,115 千円
	(補助金等交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
	正規職員人件費相当額	207 千円	204 千円	▲ 1.4	204 千円
	退職手当引当金相当額	30 千円	29 千円	▲ 5.0	29 千円
	事 業 コ ス ト 計	25,427 千円	25,425 千円	0.0	27,348 千円
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	25,427 千円	25,425 千円	0.0	27,348 千円
財源内訳	当 該 事 務 従 事 職 員 数	正規職員 0.03 人	0.03 人	0.0	0.03 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	0.01 千円	0.01 千円	▲ 9.5	
	うち一般財源ベース分	0.01 千円	0.01 千円	▲ 9.5	

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	観光事業の推進母体となる団体が継続的に活動することで、地域の活性化や交流人口の増加が図られる。
有 効 性	4	観光資源の活用により、地域の活性化と観光及び物産事業の振興発展に寄与している。
効 率 性	3	今まで以上に、関係機関と密接な協力のもと、市の魅力発信に努めるとともに、観光客の多様なニーズに迅速に応えていく必要がある。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント		
観光の振興によりもたらされる交流人口の増加を目標とし、市民、事業者及び市と協働し、地域経済の活性化を図るためにも、今後も継続し補助することが必要である。					

事業№	事業名	観光ボランティア育成事業補助金				担当部署	部名	産業経済部
		(観光推進費)					課名	商工観光課
100							電話	82-1958
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 3 部 元気で活気あふれるまち					款	商工費
	政策名(章)	第 1 章 新しい価値を生み出すまちづくり					項	商工費
	施策名(節)	第 2 節 魅力ある観光の振興					目	観光費
	実施計画掲載	無		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	交付先	射水市観光ボランティア連絡協議会					
	意図	交付目的	観光事業の健全な発展及び振興並びに地域の活性化					
事業内容	手段	補助金等の交付を受ける主な活動	1 観光客への接客マナーやガイド技術向上研修の実施 2 観光ボランティア活動					

補助金事業	類型区分	☐ 団体運営費補助	☐ 事業費補助	☐ 施設等整備費補助	☐ 政策的補助	
		☐ 格差是正補助	☐ 利子補給	☐ その他 ()		
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)			
		定額補助	予算の範囲内で交付する			
		定率補助				
	☐ その他					

施設管理運営事業	施設名					管理形態				
						指定管理者名				
	構造・階数					指定管理期間				
	建築年度		改修年度		類似施設状況					
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況					
	設備・規模									

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度		平成23年度		平成24年度		

その他	特記事項等							
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--

事業 №	100	事務 事業名	観光ボランティア育成事業補助金	担当課	商工観光課
---------	-----	-----------	-----------------	-----	-------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 観光ガイド実施件数	件	130	140	150	107.1	160
	③						

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (補助金等交付額)	526 千円	526 千円	0.0	500 千円
	(補助金等交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
	正規職員人件費相当額	207 千円	204 千円	▲ 1.4	204 千円
	退職手当引当金相当額	30 千円	29 千円	▲ 5.0	29 千円
	事業コスト計	763 千円	759 千円	▲ 0.6	733 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
財源内訳	一 般 財 源	763 千円	759 千円	▲ 0.6	733 千円
	当 該 事 務				
	従 事 職 員 数	正規職員 0.03 人	0.03 人	0.0	0.03 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	—	—		
	うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	交流人口の拡大が求められるなかで、観光ボランティアによる観光案内は欠かせないものとなっている。
有 効 性	4	観光客へのおもてなし力の向上と観光PRの拡大が図られている。
効 率 性	3	補助金以外に会費や負担金を徴収し運営を行っている。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
観光客からの様々なニーズに対応し、交流人口の増加を図るためにも、観光ボランティアの質の向上は必須であり、今後も継続し補助することが必要である。					

事業№	事業名	射水市コンベンション等開催事業補助金				担当部署	部名	産業経済部
		(観光推進費)					課名	商工観光課
101							電話	82-1958
事業期間		開始年度	平成 23 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	商工費
	政策名(章)	第 3 章 交流で輝くまちづくり					項	商工費
	施策名(節)	第 1 節 国内交流の推進					目	観光費
実施計画掲載		無		個別計画				
根拠法令・要綱等		射水市コンベンション開催事業補助金交付要綱						

事業目的	対象	交付先	コンベンションの主催団体
	意図	交付目的	コンベンションの誘致を促進し、交流人口の拡大及び地域の活性化を図ることを目的とする。
事業内容	手段	補助金等の交付を受ける主な活動	学会、大会・会議、修学旅行・合宿、スポーツ大会等のコンベンションを開催するにあたり、射水市内で宿泊する場合の宿泊費用とコンベンション主会場の使用料を一部助成するものである。

補助金事業	類型区分	団体運営費補助	○	事業費補助		施設等整備費補助		政策的補助	
		格差是正補助		利子補給		その他 ()			
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)						
		○ 定額補助	・会場使用料: 2分の1 (上限10万円) * 学会、大会、会議 ・宿泊費用 (上限20万円)						
○ 定率補助		(i) 国外からの参加者で日本国籍を有しない者: 1人1泊6,000円 * 学会、大会、会議 (ii) 県外からの参加者: 1人1泊1,000円 * 学会、大会、会議							
	その他								

施設管理運営事業	施設名					管理形態				
						指定管理者名				
	構造・階数					指定管理期間				
		建築年度	改修年度				類似施設状況			
	耐震の有無		延床面積				民間施設状況			
		設備・規模								

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度		平成23年度			平成24年度	

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	101	事務 事業名	射水市コンベンション等開催事業補助金	担当課	商工観光課
---------	-----	-----------	--------------------	-----	-------

指 標 名				単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度
						目標・見込	実績	達成率	目標・見込
成果 指標	①	利用者数 ※設定できる場合 (補助金利用宿泊者数)		人	—	200	54	27.0	200
	②								
	③								

事業費			平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・人件費	事業コスト	直接事業費 (補助金等交付額)	千円	67 千円	皆増	300 千円
		(補助金等交付件数)	(件)	(1 件)	皆増	(4 件)
		正規職員人件費相当額	千円	204 千円	皆増	204 千円
		退職手当引当金相当額	千円	29 千円	皆増	29 千円
		事業コスト計	千円	300 千円	皆増	533 千円
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
		そ の 他	千円	千円		千円
		一 般 財 源	千円	300 千円	皆増	533 千円
当該事務 従事職員数	正規職員	人	0.03 人	皆増	0.03 人	
利用者1人当たりコスト		－	5.55 千円	皆増		
うち一般財源ベース分		－	5.55 千円	皆増		

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	市内の交流人口拡大による消費の促進及び地域の活性化を図るためにも必要である。
有 効 性	4	コンベンションの開催には多額の費用がかかるため、その一部を補助することは主催団体が本市での開催を決める動機になり得るので有効である。
効 率 性	4	市の補助制度として本市の実状にそった制度設計をすることにより、他市町村の制度との差別化を図ることができる。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
コンベンション誘致による経済波及効果は大きいものである。今後とも制度内容の充実を図り、より多くのコンベンション開催を誘致できるよう努めたい。					

事業№	事業名	コンベンションタクシー助成事業補助金				担当部署	部名	産業経済部		
		(観光推進費)					課名	商工観光課		
102							電話	82-1958		
事業期間		開始年度	平成 20 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計		
総合計画	施策の大綱	第 3 部 元気で活気あふれるまち					款	商工費		
	政策名(章)	第 1 章 新しい価値を生み出すまちづくり					項	商工費		
	施策名(節)	第 2 節 魅力ある観光の振興					目	観光費		
	実施計画掲載	無		個別計画						
根拠法令・要綱等										
事業目的	対象	タクシー事業者								
	意図	コンベンションの誘致促進及びコンベンションタクシー利用による県内消費の拡大並びに観光リピーターの増加								
事業内容	手段	富山県内で開催される学会や会議・大会等のコンベンションに参加するために県外から来県された方が、その空き時間等にコンベンションタクシーを利用して気軽に県内観光を楽しんでいただけるよう、そのタクシー利用料金の一部を助成するものである。								
補助金事業	類型区分	団体運営費補助		○	事業費補助	施設等整備費補助		政策的補助		
		格差是正補助			利子補給	その他 ()				
	補助内容	補助区分		算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)						
		定額補助		射水市に宿泊するコンベンション参加者が射水市のタクシー会社を利用することが条件 負担割合 利用者5/10、県2/10、市2/10、タクシー事業者1/10						
		○ 定率補助								
その他										
施設管理運営事業	施設名					管理形態				
						指定管理者名				
	構造・階数						指定管理期間			
	建築年度		改修年度		類似施設状況					
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況					
	設備・規模									
施設等整備事業	総事業費			財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	整備内容	平成22年度		平成23年度		平成24年度				
その他	特記事項等									

事業 №	102	事務 事業名	コンベンションタクシー助成事業補助金	担当課	商工観光課
---------	-----	-----------	--------------------	-----	-------

指 標 名				単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度
						目標・見込	実績	達成率	目標・見込
成果 指標	①	利用者数 ※設定できる場合 (コンベンションタクシー利用者数)		人	0	5	0	0.0	5
	②								
	③								

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (補助金等交付額)	0 千円	0 千円	—	10 千円
	(補助金等交付件数)	(0 件)	(0 件)	—	(5 件)
	正規職員人件費相当額	0 千円	0 千円	—	204 千円
	退職手当引当金相当額	0 千円	0 千円	—	29 千円
	事業コスト計	0 千円	0 千円	—	243 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
当 該 事 務 従 事 職 員 数	一 般 財 源	0 千円	0 千円	—	243 千円
	正 規 職 員	0.00 人	0.00 人	—	0.03 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	—	—		
	うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	—	未執行 (助成なし)
有 効 性	—	未執行 (助成なし)
効 率 性	—	未執行 (助成なし)

評価結果 (1次)	—	未執行のため評価不能	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
本事業は県及び市町村、タクシー事業者が一体となって取り組んでおり、本市としても協力すべきであるとする。全県的に取り組むことにより富山県へのコンベンションの誘致の促進につながり、その参加者が本市への観光客となることが十分に考えられるので、今後とも当該制度をさらに広くPRし、利用促進に努めて参りたい。					